

ONLINE FIELD STUDY

やんばるの森と海と人に学ぶ自然との共生

地球環境共生実習(2)・課題研究/共生レポート

2017年より毎夏実施してきた沖縄県北部・やんばる地方でのフィールドスタディ。今年にはコロナ禍にあって現場を訪れることが困難なため、初めてのオンライン・フィールドスタディを行います。現場からの中継と話題提供、ディスカッションを通して、沖縄・日本・世界の宝物であるやんばるの海と森のすばらしさと価値を知り、自然と人が共生していくために何が大切か、どんな行動が必要なのかについてともに学び、考えます。



オンライン開催



2020.10.10-11
と事前・事後学習

■対象

星槎大学学生、星槎国際高校生徒

*一般の方は、10日のオンライン・シンポジウムのみ参加可



■定員

20名程度(最低挙行人数5名)



■参加費用(履修科目登録費)

正科生30,000円 科目等履修生36,000円

※課題研究/共生レポート1<2単位>と併修の場合は、
正科生40,000円 科目等履修生52,000円

※履修科目登録しない場合、星槎国際高校生徒及び一般の方は無料

■申込方法<星槎大学学生(履修科目登録をして参加する場合)>

- ①地球環境共生実習(2)<2単位>を履修科目登録してください。
課題研究/共生レポート1<2単位>の併修希望の場合、併せて履修科目登録してください。
- ②履修科目登録後、大学事務局の指示に従い履修科目登録費を大学指定口座に振り込んでください。
- ③科目担当教員より、学修の詳しい内容などについて連絡します。
履修科目登録期間： 9月1日~9月20日
※星槎国際高校生徒の方は、学習センターを通して問合せ・申込先にご連絡ください。
※一般の方や、履修科目登録をしないで参加する場合は、問合せ・申込先に直接ご連絡ください。

■日程(プログラム詳細は裏面をご覧ください)

10月10日(土)・11日(日)10時~17時【Web会議アプリZoomを使用】

講義(ゲスト講師も含む)と現地のオンライン中継によるフィールドスタディ

履修科目登録する場合、これに加え事前学習(6時間)・事後学習(6時間)が必修

・事前学習 9月20日(日)~10月9日(金)の間にオンデマンド・スクーリング自宅受講

・事後学習 履修者と日程調整 10時~17時【Web会議アプリZoomを使用】



■プログラム

●オンライン・フィールドスタディ

10月10日(土)実施

- オリエンテーション やんばるの森と海と人に学ぶ意味
- オンライン・シンポジウム「やんばるの森と海と人が共生するために」
 - 話題提供1 やんばるの森の生き物を守るのは、行動 宮城 秋乃
 - 話題提供2 日本初のホープスポット・大浦湾に潜り、守る 安部 真理子
 - 【中継】グラスボートから大浦湾の豊かさを観察しよう
案内:じゅごんの里・西原ルカ(現地レポート 沖縄の高校生)
 - 話題提供3 吉川秀樹 やんばる世界自然遺産登録の問題と課題
- グループディスカッションと発表、講師との意見交換

10月11日(日)実施

- 【中継】辺野古テント村で新基地反対運動について聞こう
浦島悦子(現地レポート 沖縄の高校生)
- 講義 ジュゴンを守る市民調査活動と自然の権利訴訟 鬼頭 秀一
- 【中継】ゆりあげ貝からみた沖縄の海岸自然環境(貝と言葉のミュージアムから)
講師 名和純
- 未来につなぐ大学生・高校生の研究・活動
沖縄の貝と海の環境の研究 仲程 信哉(星槎大学学生)
世界文化遺産・首里城再建のための活動 星槎国際高校生チーム
- まとめ 2日間の省察、全体のコメント

●事前学習・事後学習(科目履修者は必修)

詳細は後日、履修科目登録者に別途連絡します。

■プロフィール

担当教員(敬称略)

- 保屋野 初子 星槎大学共生科学部教授。日本、海外でフィールドワークにより水と人とのかかわりを研究。やんばる東海岸では人々の海山とのかかわりの聞き取り調査を行う。
- 鬼頭 秀一 星槎大学共生科学部・大学院教育学研究科教授。環境倫理学・科学技術社会論を専門とし、現場でのフィールドワークを踏まえ、環境にかかわる理念に関する研究を行っている。

ゲスト講師(敬称略)

- 宮城 秋乃 日本鱗翅学会・日本蝶類学会会員。沖縄県の森林性のチョウの生態などを研究。高江・安波の昆虫調査で新種のカニムシ2種発見ほか、米軍監視活動も行う。
- 安部 真理子 公益財団法人日本自然保護協会職員。アザミサンゴの多様性に関する研究で博士号(理学)取得。沖縄、奄美に通り、サンゴ礁を中心に海の保護活動を展開し発信。
- 吉川 秀樹 Okinawa Environmental Justice Project(沖縄環境正義プロジェクト)代表。琉球大学ほか非常勤講師(文化・応用人類学)。環境、平和、人権をテーマに幅広く活躍。
- 浦島 悦子 やんばる東海岸在住の著述家・活動家。著書に辺野古5部作(『辺野古 海のたたかい』『みるく世や やがて』など)多数。
- 名和 純 貝の専門家。大浦湾瀬嵩浜に近い「私設資料室 貝と言葉のミュージアム」を拠点に、浜に打ち上げられる「ゆりあげ貝」とおして渚の自然環境を伝える活動を展開。